

3 本時の学習（B）

（1）本時の目標

- ・日本の領土や領海、排他的経済水域の範囲をおおまかに理解し、それらをめぐる課題があることを把握する。

（2）本時の展開

○学習活動・学習内容	■指導上の留意点及びワークシートの活用例
<p>学習課題</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">日本の位置や国土の広がりの特徴について考えよう</div> <p>○地図や写真から、日本の領土・領海の範囲を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本は多くの島からなっている。 ・領土よりも領海の方が広い。 ・西之島が拡大して、日本の領海が広がった。 <p>○地図や写真、教科書本文から領土の範囲をめぐる問題について理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北方領土は、日本固有の領土である。 ・竹島は、日本固有の領土であるが、韓国が不法に占領しているため、日本は抗議を続けている。 ・尖閣諸島は、日本固有の領土である。 <p>○これまでに調べたことを、表にまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ユーラシア大陸の東、太平洋の西にある。 ・アメリカ合衆国やフランスなどとほぼ同緯度にある。 ・大韓民国や中華人民共和国、ロシア連邦などと隣り合っている。 ・海に囲まれ多くの島からなる。 ・広い領海をもっている。 <p>○今日の学習課題に対する自分の考えをまとめる。</p>	<p>■領土という「ことば」をしっかりと確認したのち、日本には領土をめぐる問題があることに気付けるようにする。ただし、5年生の段階ではその解決策を考え、話し合うなどの活動には深入りせず、概要や位置等の確認に留める。</p> <p>■領海の外側には、排他的経済水域があることにもふれる。</p> <p>■小学生用ワークシート②の2を使って、関東地方の各都県と北方領土の島々の広さを比べるなどの具体的な作業を通して、北方領土への関心を高める。</p> <p>■調べたことと、児童が考える日本の特色が混同しないように、整理しまとめることができるようにする。</p>